

## 編輯室の内外

▽暑い寒いと言つてゐる内に早や歳の暮、昭和八年も暮れむとする、路政界多事の歳であつた。全國に亘つて時局匡救事業が執行され、局部的とは言ひながら各地に近代道路を見るやうに爲つた、之と並行して自動車も増加し、國民の生産と消費とに齎す效果の大きいのに想倒するとき、時局匡救事業は慥に善政の一つであつた。從つて更に之を繼續し農村更生の實を擧ぐるまで執行するが、國民の希望するところであるのに不拘、軍事費の負擔に累られて中途挫折せむとするのは蓋し恨事と言ふべきである。

▽九年度に於ける道路費豫算大削減に遭ふ何者の痴漢ぞや、町村道路の改良は無用であると言ふ、固より全國町村に於て執行したもの、其の數に於て他の土木事業に比し數十倍加してゐる、時に會々不急の起工があつたとしても、其の一事を以て全國道路改良の効果を推定するのは、泥棒に見舞はれた者總ての人を泥棒視すると同様であつて、寔に短見なものと言はねばならぬ。社會の實情に精通せざることに於て憐むに堪

へたりだ、試に見よ、と固くなつて言ひたい、今回の道路事業に依つて昔から死蔽された自然財貨の市場進出を見るに至つたことを、夫れば遠くの地に赴かずとも大藏省の在所、東京市場に於て賣見するが可い、夫ばかりではない、道路が改良されなかつたが爲に生した、人生の悲惨事は各地に於て除却されてゐる。親子相擁して其の道を盡すことが出來たと云ふ例は、何も遠く足を東北の地に運ばなくとも、之を三多摩の奥地に於て見ることが出來得やう。此の如き卑近の事例を以て教えてあげても尙判斷することが出來なければ、暫く海外に出て、先進國を見る必要があらう。筆者は

むとしたが、紙數の都合で新年號に譲るの已むを得ないものがある、不惡御諒承を願ひたい。

▽本誌はいつになく遅延した、夫れば土木會議の議決の内容と九年度豫算の成行きを報導したい爲に外ならなかつた。本誌は本誌を刊行する爲に刊行してゐるのではない、唯だ路政と讀者各位とが團結して帝國路政に貢献せむとする使命を有する、此意昧で刊行の遅延を許して貰ひたい。(た)

本誌定價五十錢  
一ヶ年分金六圓

東京市麹町區外櫻田町一番地内務省内  
發行所社團道路改良會  
東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六  
發行兼編輯者  
東京市小石川區諏訪町五六  
印刷者常磐印刷所  
印 刷 者  
堀江關武